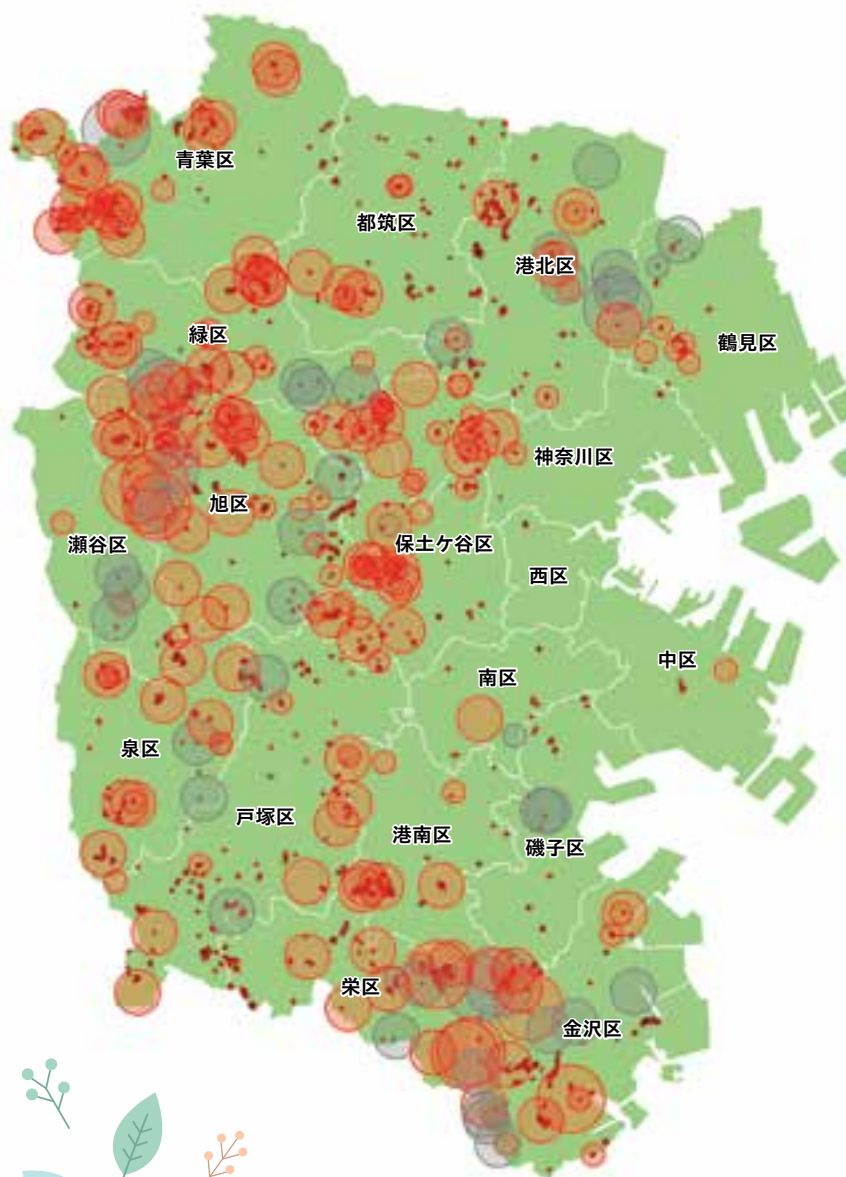


3.横浜みどりアップ計画の主な実績

柱1 市民とともに 次世代につなぐ森を育む



特別緑地保全地区・
近郊緑地特別保全地区

計画開始以降(2009~2022)



計画開始前(～2008)



源流の森保存地区・緑地保存地区・
市民の森・ふれあいの樹林

計画開始以降
(2009~2022)

計画開始前
(～2008)



制度指定した樹林地(保土ヶ谷区)



制度指定した樹林地(泉区)

樹林地の保全が進展

計画開始以降の14年間で新たに1,050haの樹林地を緑地保全制度により指定しました。計画開始前は40年間で861ha指定しており、3倍以上のスピードで保全を進めました。



ガイドマップ

市民の森が増加

土地所有者のご協力により、計画開始以降16か所を「市民の森」として開園し、自然に親しみ憩える場が増えました。また、ガイドマップを作成し、気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを進めました。

市民の森 ガイドマップ



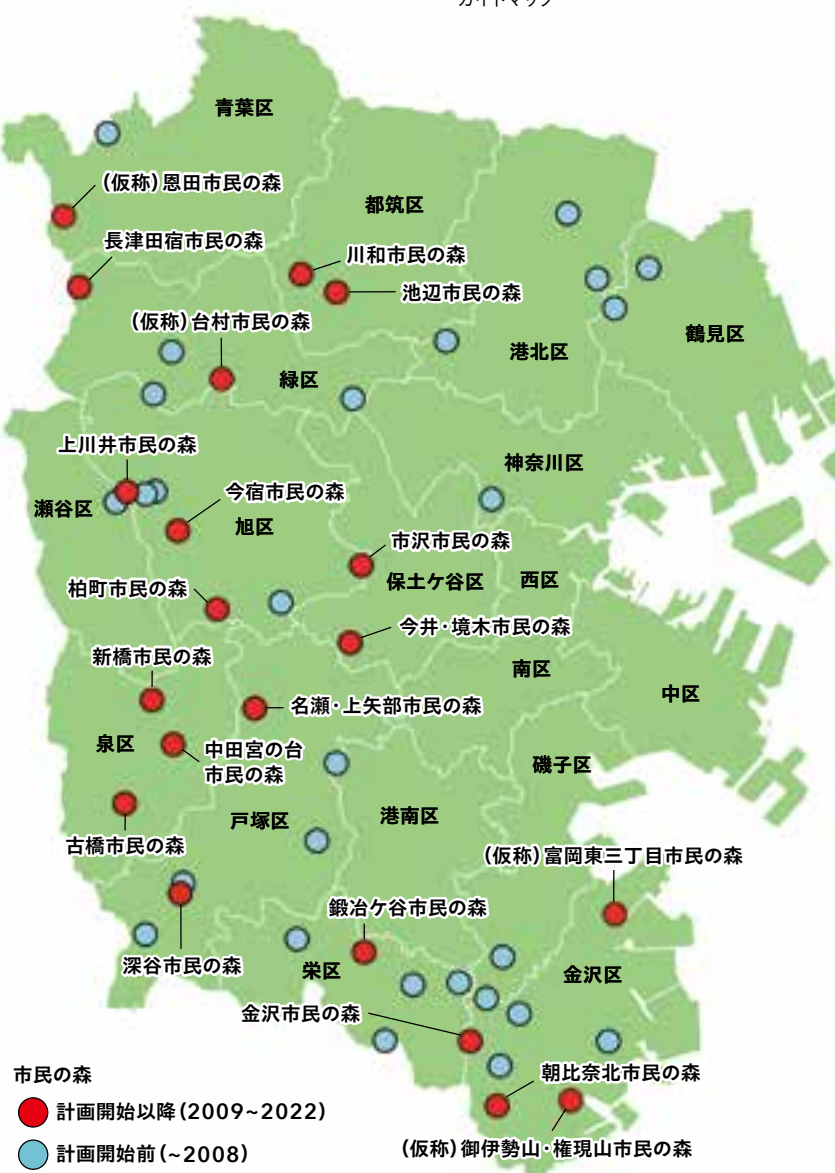
長津田宿市民の森 (緑区)



市内大学と連携したイベント (緑区)



森の中のプレイパーク (瀬谷区)



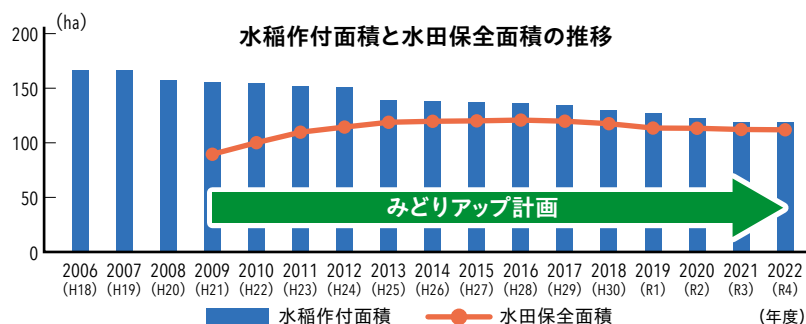
森に関わる多様な機会を創出

小学校の自然体験教室のコーディネートや自然観察会の講座開催など、森についての理解を深める取組を進めました。また、「よこはま森の楽校」や「森の中のプレイパーク」などの様々なイベントを、市内大学や関係団体などと連携しながら実施し、森に関わるきっかけづくりを進めました。

柱2 市民が身近に 農を感じる場をつくる

市内の水田面積の約9割を保全

土地所有者が水田を維持できるよう支援し、横浜に残る貴重な水田景観を保全しました。



保全された水田 (戸塚区)

農とのふれあいの場や機会の増加

野菜の収穫などを気軽に体験できる収穫体験農園や、自由に栽培・収穫ができる認定市民菜園など、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設の支援や整備を進め、計画開始以降310か所の農園が開設されました。また、子どもたちが楽しく農を学べるよう、家族で参加できる農体験講座を開催しました。



農体験教室 (青葉区)



家族で学ぶ農体験講座 (保土ヶ谷区)

地産地消にふれる機会を拡大

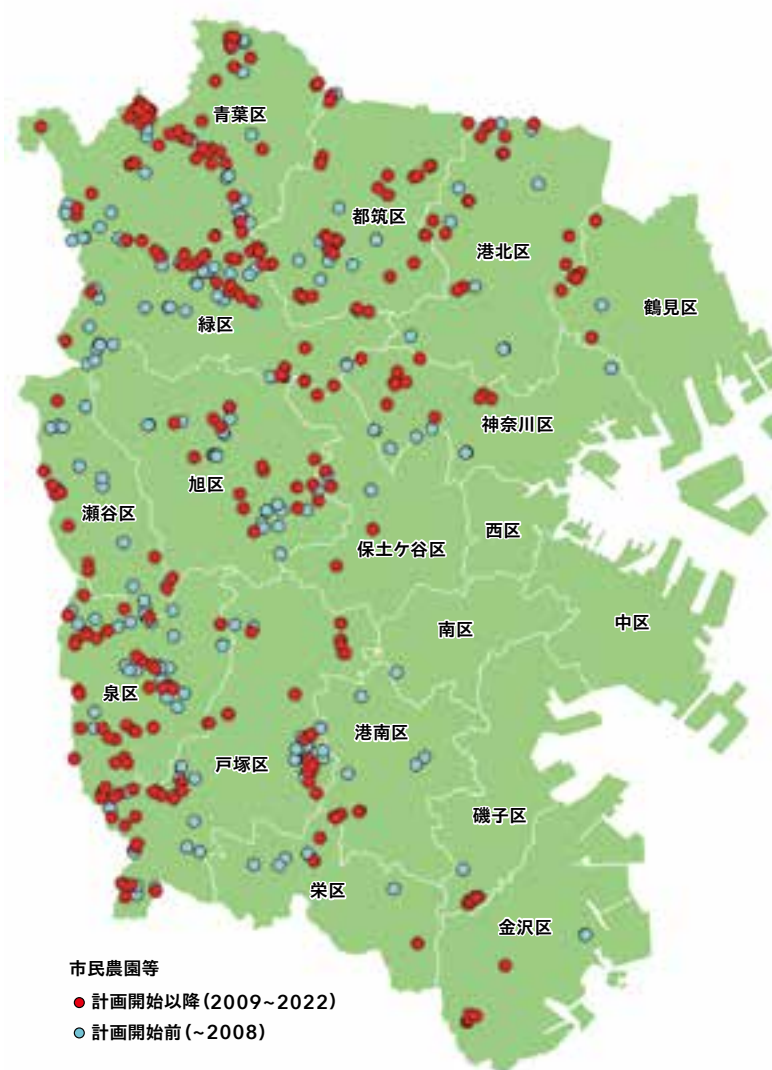
青空市やマルシェの開催等を支援し、身近な場所で楽しみながら農畜産物を購入できる場が増えました。



みなとみらい農家朝市 (西区)



横浜北仲マルシェ (中区)



柱3 市民が実感できる 緑や花をつくる

市民や企業と連携した緑のまちづくりが進展

地域が主体となり地区ならではの緑を創出する「地域緑のまちづくり」は、計画開始以降14年間で67か所展開されたほか、各区ではオープンガーデンなどの地域に根差した緑や花の楽しみづくりを推進しました。



球根ミックス花壇(旭区)



地域緑のまちづくり(磯子区)



花と緑に関するウォーキングイベント(都筑区)



地域緑のまちづくり(港北区)



オープンガーデン(瀬谷区)

これまでの取組の実績は、
市ホームページに
掲載しています。

みどりアップ 実績

